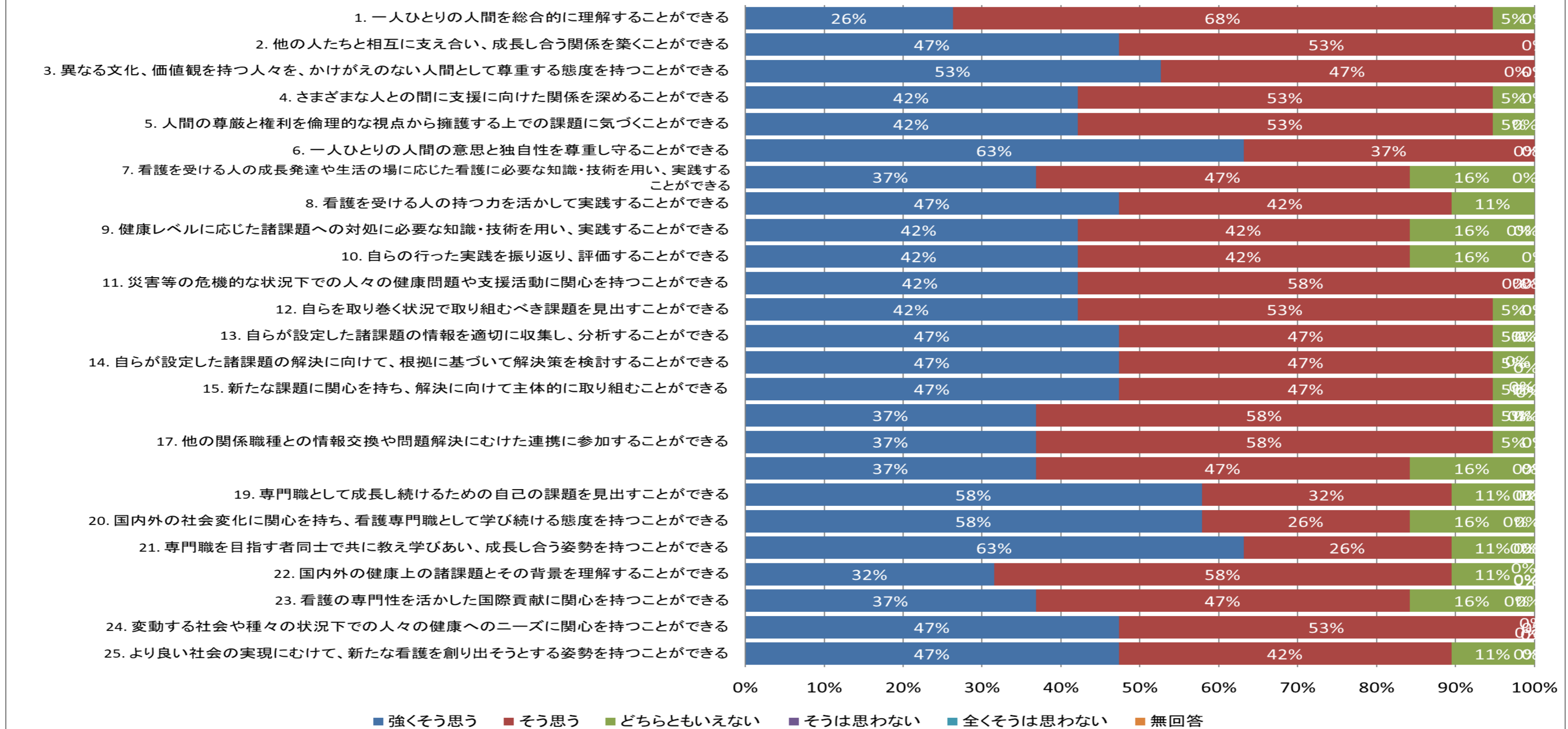


2020年度の調査も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、WEBによる調査を行ったところ、さらに回収率が低くなりました。しかしながら、回答を得た中では、卒業時4年生が本学で身に着いたと捉えている能力として、「関係を築く力(DPⅠ)」「擁護する力(DPⅡ)」「実践する力(DPⅢ)」「変化を生み出す力(DPⅧ)」でした。具体的には、次の項目が上位でした。

<身についた力>

- 他の人たちと相互に支え合い、成長し合う関係を築くことができる(100%)。
- 異なる文化、価値観をもつ人々を、かけがえのない人間として尊重する態度を身につけている(100%)
- 一人ひとりの人間の意思と独自性を尊重し守るための能力を身につけている(100%)
- 災害等の危機的な状況下での人々の健康問題や支援活動に関心を持つことができる(100%)
- 変動する社会や種々の状況下での人々の健康へのニーズに関心を持つことができる(100%)。

2020年度調査 卒業時に身についた力(学部4年(編入生含む))

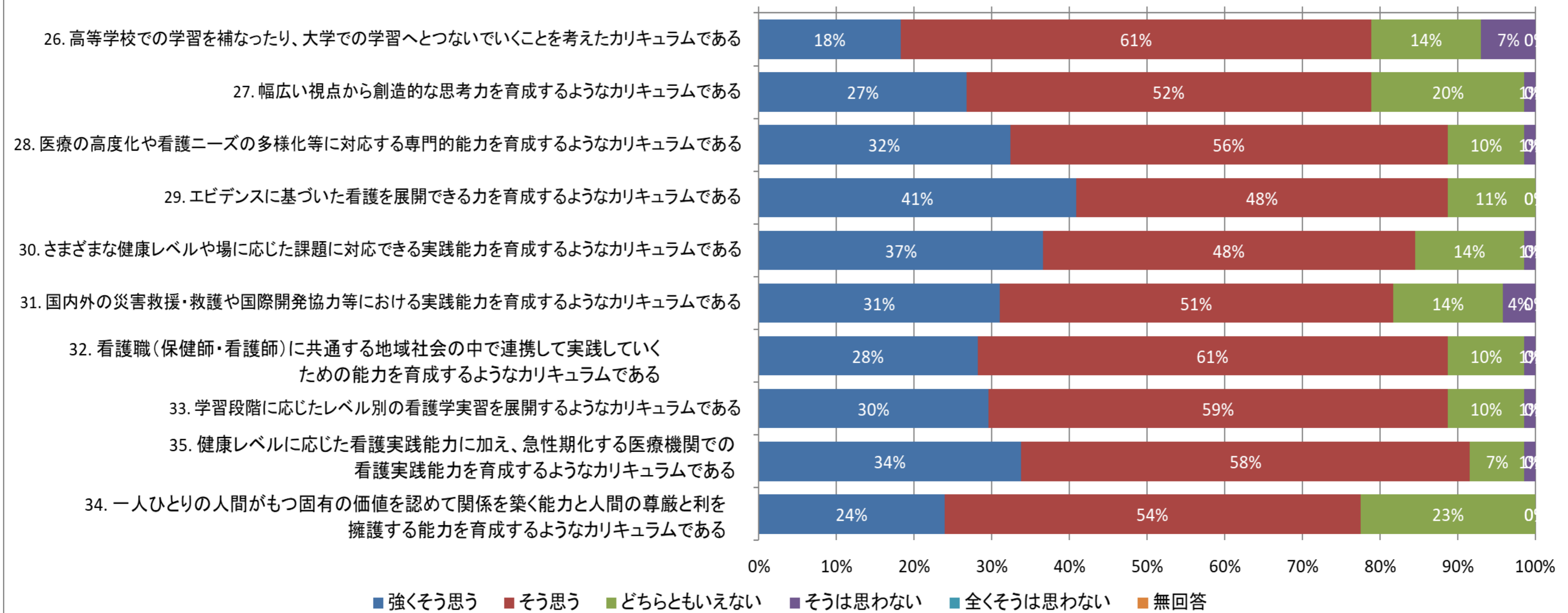


本学の在校生2～4年生のカリキュラムに対する受け止めについて、「強く思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目の上位は、次の通りでした。学習段階に応じたレベル別の看護学実習が展開されている点、エビデンスに基づく看護実践、様々な健康レベルに応じた実践能力、地域社会の中で連携して実践するための能力を養うカリキュラムであると評価されました。

<本学のカリキュラムについて評価>

- 学習段階に応じたレベル別の看護学実習を展開するようなカリキュラムである(89%)
- エビデンスに基づいた看護を展開できる力を育成するようなカリキュラムである(89%)
- 看護職(保健師・看護師)に共通する地域社会の中で連携して実践していくための能力を育成するようなカリキュラムである(89%)
- さまざまな健康レベルや場に応じた課題に対応できる実践能力を育成するようなカリキュラムである(85%)
- 医療の高度化や看護ニーズの多様化等に対応する専門的能力を育成するようなカリキュラムである(88%)

2020年度 本学のカリキュラムに対する評価 (学部1～4年生)





本学の在学生在が学習環境に関して、「強くそう思う」「そう思う」と肯定的に評価した項目の上位は次の通りでした。新型コロナウイルス感染症によって遠隔授業が行われ、学習環境が制約された中で大学生活全体に対する満足は、62%が肯定的に評価していました。「本学に入学してよかったと思う」という評価が得られたことは、学と教職員が一体となって取り組んだ努力によるものと思います。学問分野の専門家として優れた教員が多いことや、学生を尊重してくれる教員が多いことに対して肯定的に評価していました。また、実習室の充実についても肯定的に評価されていました。

＜本学の学習環境についての評価＞

- 本学に入学してよかったと思う(96%)
- 学問分野の専門家として優れた教員が多い(94%)
- 学生一人一人を尊重してくれる教員が多い(88%)
- 人間的に魅力があり、尊敬できる教員が多い(90%)
- 実習室の教育機材は充実している(86%)

2020年度 学習環境に対する評価(学部1～4年生)

